

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	れいめいFORCE・れいめい醍醐			
○保護者評価実施期間	2026年1月21日		～	2026年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25世帯	(回答者数)	17世帯
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職務経験の長い職員が多く、有資格者を多数配置している。		今後も外部研修等を活用し、サービスの質の向上へとつなげる。
2	当方が運営している放課後児童クラブ(れいめいkids factory)との交流を通し、インクルーシブ教育を実践している。	様々な個性や生活環境の異なる児童と触れ合うことで、自他の境界の理解を深め、コミュニケーション能力の向上に努める。児童同士でのトラブルにおいては、その都度振り返りを行い、原因と対処方法を一緒に考える。	他校あるいは他学年の児童との交流のきっかけ作りをし、交流の輪を広げ、見識を深める手助けをする。
3	毎月、常勤職員によるモニタリングを行い、個別支援計画を見直し、その際、個別情報、医療・福祉の情報を共有している。	毎日の日報や個々の意見から、児童の現状の把握や課題の優先順位、療育課題等について討議し、共通認識を持って療育にあたっている。	今後も日頃から児童と向き合い、理解を深め、より適切な支援を提供できるよう努める。個々の児童・生徒と家庭に、安心を増やすよう支援する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会を設けていない。	保護者の負担や家族環境の違いを考慮し、実施していない。保護者の意向に応じて、家族支援プログラムや研修の実施を検討する。	実施の際に考慮すべき点(プライバシーや家族環境の違い、利用児童の障がいの度合等)について、細心の注意を払い、全世帯が参加できるかをよく検討した上で、実施の可否を決定する。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域の方々と交流する機会を設けていない。	防犯面で、間取りや施設内の設備に関する情報漏洩を防ぐ為、実施は予定していない。また、プライバシー保護の観点からも同様である。	利用児童の安全とプライバシーが確保できれば、実施を検討する。
3	保護者会の開催や、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を実施していない。	保護者の負担や家族環境の違い、およびプライバシー保護を考慮し、実施していない。	保護者からの要望があれば、実施を検討する。